



燻

資料と保存展 7

資料保存の裏側



燻

会 期：平成 29 年 5 月 9 日（火）～ 5 月 29 日（月）
場 所：図書館展示コーナー（11 号館 1 階）
開館時間：10 時～ 18 時 30 分

品川学術情報課

資料保存の裏側

資料保存の裏側

【資料保存がわかる10の言葉】

燻蒸編

1. 燻蒸

カビや虫を駆除するために、資料を密閉された空間で揮発性物質や薬品の蒸気にさらすこと。燻蒸をおこなう際には人体・環境そして資料に細心の注意を払う必要がある。

2. 被覆燻蒸法

燻蒸対象物をシートで覆って燻蒸する方法。文化財の建造物全体を外側から被覆する場合や、展示室や収蔵庫内の一箇所を被覆して燻蒸する。

3. 密閉燻蒸法

鉄筋コンクリート建造物など、気密性の高い建造物の全体や一部を目貼りして燻蒸する方法。被覆燻蒸より気密性が高いため薬剤の総使用量が少なくて済む。

4. 燻蒸庫燻蒸法

建物の内外に設置された専用の燻蒸庫を使用して燻蒸する方法。燻蒸専用のため、扉を閉めるだけで密閉される。密閉燻蒸法の一つであるため薬剤の総使用量も少ない。

5. 包み込み燻蒸法

絵画・掛軸、書籍・古文書など、小型で少量の文化財を合成樹脂シートで包み込んで密閉して燻蒸する方法。

6. 減圧燻蒸法

減圧装置に燻蒸対象を入れ、空気を抜いて減圧状態にしてから燻蒸ガスを注入して燻蒸する方法。常圧燻蒸よりも短時間であり、拡散・浸透もよいなど多くの長所を有する。

7. フッ化スルフルリル

別名、スルホニルジフルオリド。無色無臭の気体。空気よりも重く、天井が低い場所では滞留して酸素欠乏を引き起こす可能性がある。

8. 酸化プロピレン

別名、プロピレンオキシド。無色の揮発性の液体。アメリカでは有害大気汚染物質および、有害廃棄物に指定されている。

9. 酸化エチレン

別名、エチレンオキシド。無色の気体。甘い匂いを持つ。殺虫・殺菌以外にも、ロケット推進剤、合成繊維、接着剤、医薬品の製造にも利用されている。

10. 臭化メチル

殺虫・殺菌用の燻蒸剤。文化財や輸出入品の燻蒸に使用されてきたが、オゾン層を破壊する物質であり文化財での使用は現時点では禁止されている。